

【石鳥谷町八幡地区】

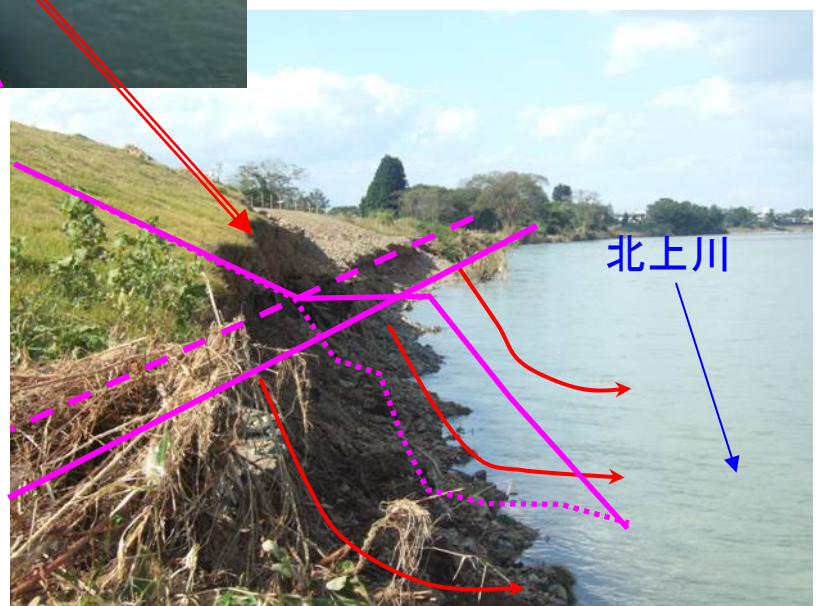


<被災状況> 690mにわたり河岸が洗掘した



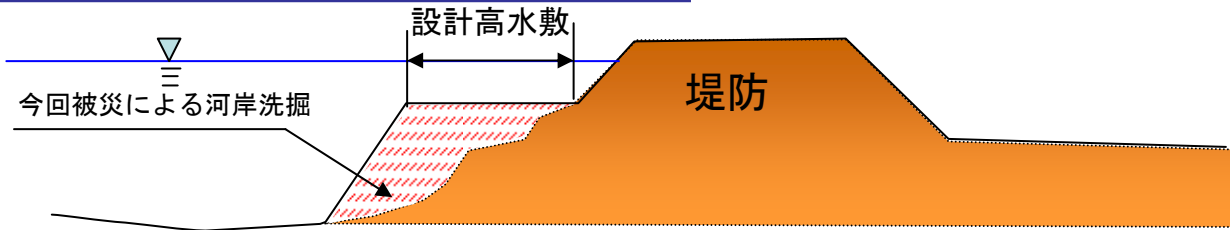
堤防法脚付近まで河岸が洗掘された。

このままでは次期出水時に被災(洗掘→決壊)することが考えられることから、護岸を施工するものとする。

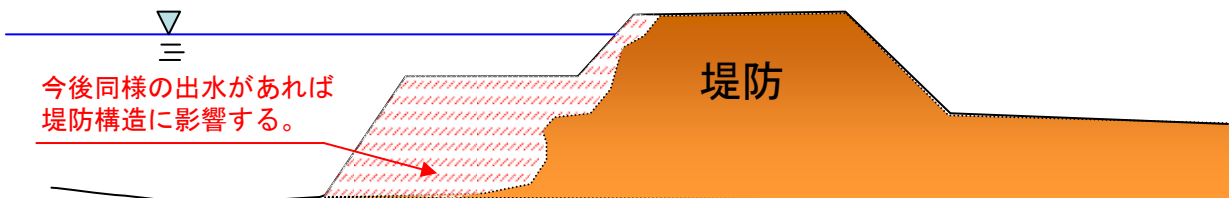


【石鳥谷町八幡地区】

出水の影響で河岸が洗掘された



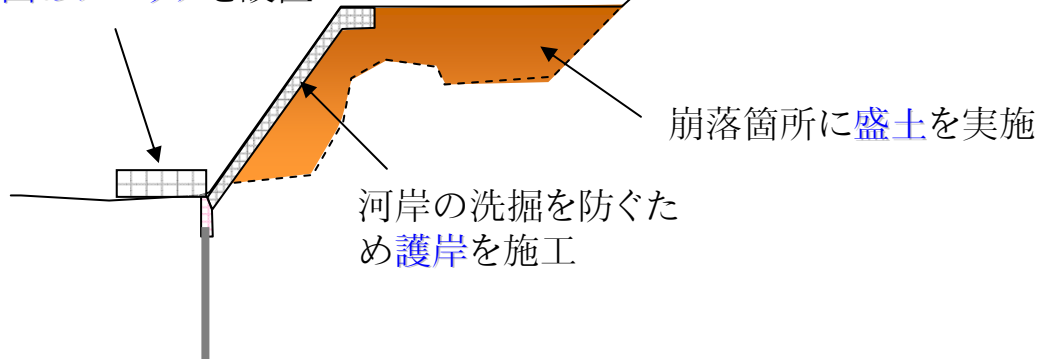
災害復旧工事をしないと . . .



災害復旧工事

上記のような状態になった場合、堤防が弱体化してしまい、破堤につながる恐れがあるため災害復旧工事が必要になる。

河床の洗掘を防ぐ為に  
根固めブロックを設置



崩落箇所に盛土を実施

河岸の洗掘を防ぐため護岸を施工

崩落背面に盛土を実施し、前面に護岸を張り、河床に根固めブロックを設置し再度災害の防止を図る

当該箇所の災害復旧を行うことにより、今回と同程度の規模の出水に対して資料-3-3にある資産を守ることが期待できます



## 浸水想定区域内の資産

面積:約24ヘクタール

世帯数:約32世帯

被害額:約17億円

### 【岩谷堂堤防】



**土**のうを積んで河川水位と漏水口との水位差を縮めて水の圧力を弱め、漏水口が拡大するのを防ぎ、堤防の決壊を未然に防ぎます。

川表

川裏

月輪工

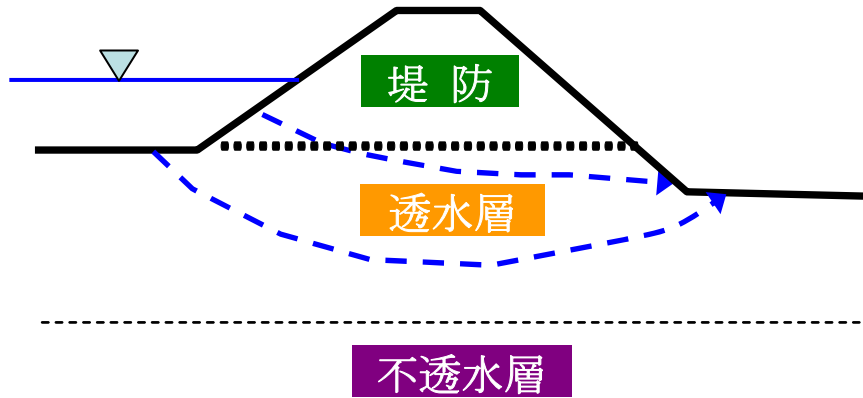
#### <被災状況>

堤防を浸透してきた水が、増水によって水圧がかかり堤防川裏の法尻付近から水が噴き出した。被災を軽減させる為に水防活動（月輪工）を実施した。



【岩谷堂堤防】

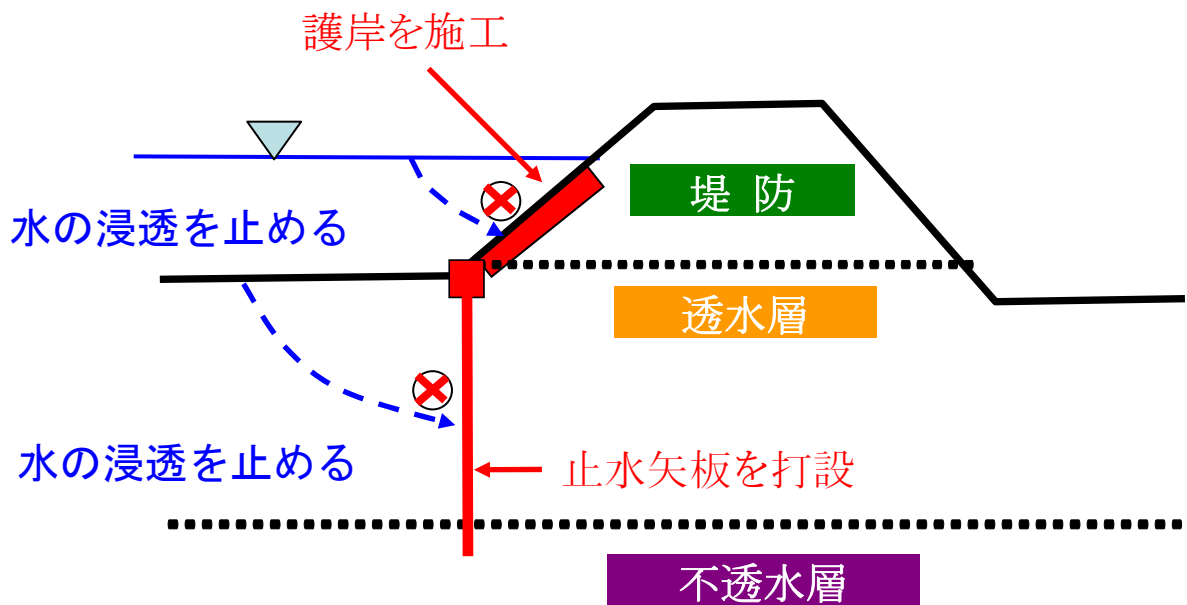
出水の影響で堤防から漏水した



河川水位の上昇に伴って堤体内部に浸透した水に水圧がかかったため堤防の裏側から水が吹出した

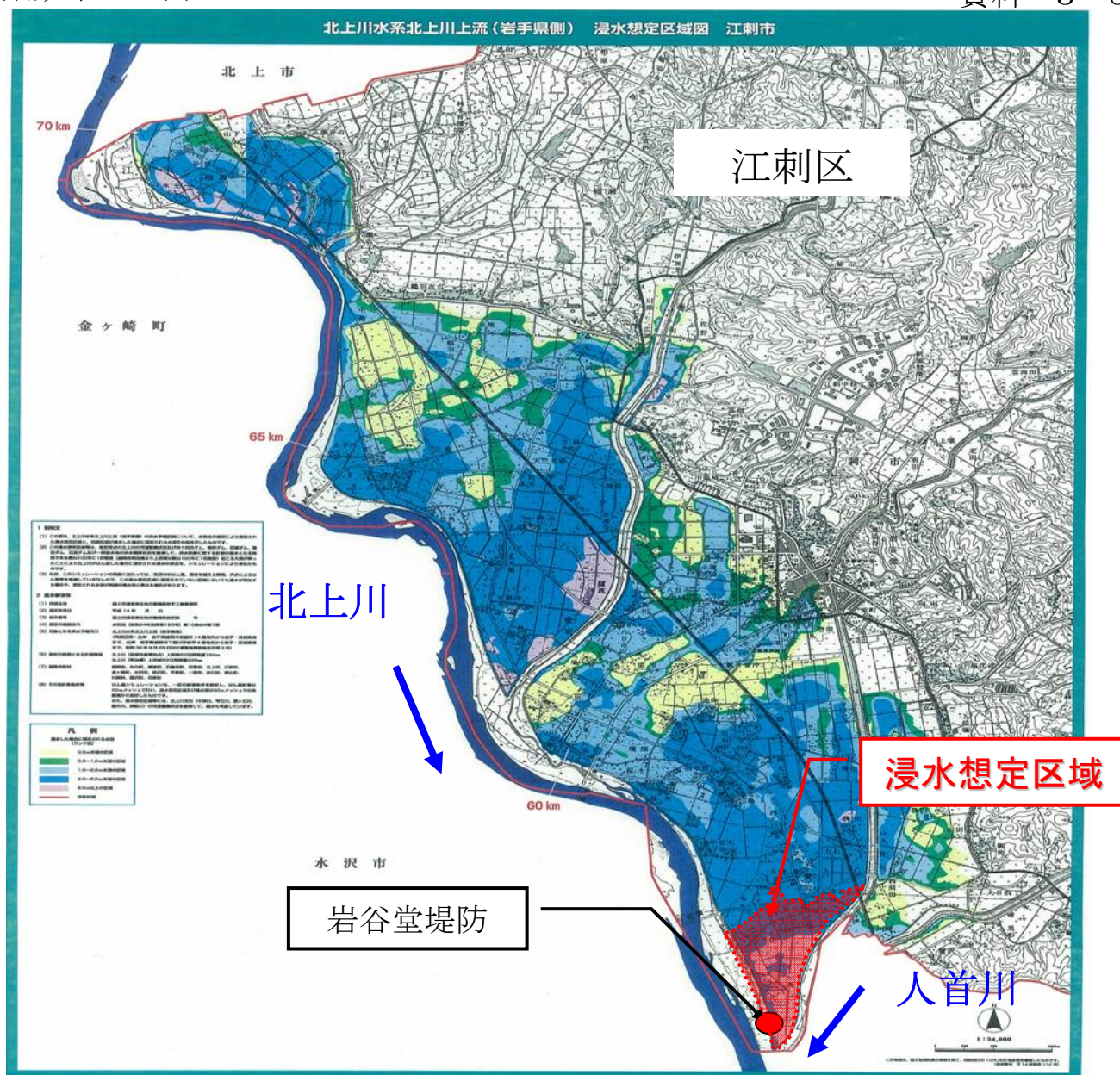
災害復旧工事

堤防のなかに水みちが広がり決壊してしまうおそれがあることから、それを未然に防ぐため、災害復旧工事が必要になる。



堤防の川表法面に護岸を設置し、堤防下の基盤に止水矢板を打ち込んで漏水対策を実施して、再度災害の防止を図る

当該箇所の災害復旧を行うことにより、今回と同程度の規模の出水に対して資料-3-6にある資産を守ることが期待できます



## 浸水想定区域内の資産

面積:約50㉩

世帯数:約37世帯

資産額:約28億円